

臭いを除る

天然の植物オイルエキスが「臭いを除る」

現代人は「ニオイ」に敏感です。悪臭は今や社会の“キラワレ者”です。このやっかいな問題をすばやく解決するのが、天然臭気中和剤「エコソープ」です。どんな場所のどんな臭いも低コストで消臭し、人体や環境に安全無害です。

ECOSOAP RB



例えば…工場のニオイ対策

屋外や、広いエリアに拡散する臭いにも、噴霧システムや蒸発システムで強力対応。臭いを出さない優良事業所に。

エコソープの中和プロセス

エコソープは、数十種類の天然植物から抽出したオイルエキスをブレンド・精製した、天然の臭気中和剤です。あらゆる臭気に対して効果を発揮することが化学的に実証されています。

(臭気の中和プロセス)

エコソープのミクロン粒子を空気中に噴霧→粒子が静電気作用で悪臭分子を引きつける→粒子が悪臭分子をフィルム状に覆い中和分解

※エコソープの粒子が完全に揮発するまで消臭効果は持続します。

エコソープは完全な有機物であり、微生物や酸化作用によって自然分解されるため、人体や土壌環境には一切影響を及ぼしません。

代表的ガスとエコソープの接触試験データ

悪臭元素	悪臭の初期濃度	エコソープと接触後の濃度	5分経過	15分経過
硫化水素	48	40	7	<2
アンモニア	97	68	5	<1
二酸化硫黄	26	<0.1		
メチルメルカプタン	3.20	<0.1		
エチルメルカプタン	3.92	<0.1		

エコソープの安全性

アメリカの環境保護庁、農務省、食品協会等の安全性に関する厳しい検査をクリア。日本においても日本食品分析センターの試験で安全性が確認されています。人体及び海洋・河川等の自然環境に全く無害であり、あらゆる場所での使用が可能です。

消臭とシステムはおまかせください。

臭気中和剤エコソープの使用方法

エコソープは噴霧や蒸発気化、投入など状況に合わせて様々な方法で使用できます。従来対策が困難とされていた諸工場の作業環境改善や周辺への対策、また数百メートルに及ぶ広大な処分場など限りなく適応できます。

また、スクラパー(洗浄塔)で使用される各種洗浄剤の代わりにエコソープは大変有効です。

使い方は一般的に水で数十倍～数百倍に原液を希釈する方法があります。例えば噴霧する場合、ファンタイプで10～100倍、ノズルタイプで50～500倍に希釈して使用しますので、ランニングコストが安く、悪臭対策が簡単です。

※希釈率は使用する装置のタイプ、使用場所、(屋内外、面積)、臭いの種類や濃度等の条件によって適宜調整します。

使用方法1-高圧ノズルシステム

ノズルシステムは屋内外のエリアにおいて幅広く適応でき、工場の排気ダクトやスクラパーへも設置が容易です。エコソープは自動的に希釈されますので、わずらわしい希釈作業が不要となります。噴霧された滴は10ミクロン以下の微粒子となり、悪臭に接触し中和します。

原液消費量	1ノズルあたり	約16ml/時間	希釈率約300倍の場合
-------	---------	----------	-------------



●処分場消臭対策例



●リサイクルプラント消臭対策例



●排気ダクト消臭対策例

使用方法2-ファン噴霧システム

消臭ファンシステム(写真)は屋内外に適用でき、首振り回転(4°～360°)で対象エリアを広域的に消臭します。初期投資が低く、噴霧量の調整が自由にできます。噴霧された滴は10ミクロン以下の微粒子で水濡れの心配がありません。1台のファンで通常280mlのエリアがカバーできます。

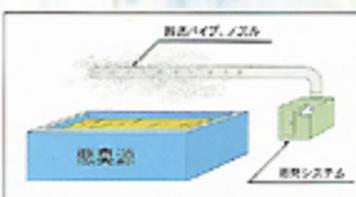
原液消費量	1台あたり	約50ml/時間	希釈率約70倍の場合
-------	-------	----------	------------

使用方法3-蒸発気化システム

水の確保が困難な場所や水分を嫌う場所に適したシステムです。屋内外を問わずあらゆる場所に対応します。

- ①気化させたエコソープをブローアーによって悪臭の発生する場所に送り込む方法。
- ②排気ダクトのブローアー吸引力を利用して気化させたエコソープをダクト内に引き込む方法。(オフィス効果)
- ③悪臭をチャンパー等を集め、気化したエコソープを送り込みチャンパー内で反応させる方法。

原液消費量(蒸発気化)	蒸気量	10～20/時間	極度の臭気で広範囲の場合(600タンク)
	装置目	10ml～20ml/時間	小規模設備の場合(レストラン排気ダクト)



●蒸発気化システム概要



●スラッジルーム消臭対策例